

# 南小だより

[minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp](mailto:minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp)

令和4年6月1日

6月号

さいたま市立南浦和小学校  
電話 048-861-3781



やわらかい ころを もちましよう

校長 小野 圭司

表題の言葉は、相田みつをさんの次の詩の中に示されています。

セトモノと セトモノと  
ぶつかりっこすると すぐこわれちゃう  
どっちな やわらかければ だいじょうぶ  
やわらかい ころを もちましよう  
そういうわたしは いつもセトモノ

今朝のテレビ放送による講話朝会では、この相田さんの詩の内容を踏まえ、ガラスのコップとコップをぶつかりっこさせると割れてしまうが、コップとスポンジならば割れないことを子どもたちに示しました。このことは、人の心の様子のものであり、硬い心と硬い心がぶつかりと争いが起こって壊れてしまうことを表すとともに、柔らかい心であれば、ぶつかっても一旦相手の心を受け止めることができることを例えています。

6月は、「いじめ撲滅強化月間」です。子どもたちには、こんな話もしました。「南浦和小学校の先生たちは、いじめを絶対に許しません。また、いじめられた人を絶対に守ります。なので、もしも、いじめを見つけたら、すぐに先生たちに教えてください。先生たちは、いじめをした人の話をよく聞き、これからいじめをしないように話をします。また、いじめられた人にもよく話を聞き、安心して学校生活を送ることができるようにしていきます。」

令和4年度は「スマイル大作戦」を合言葉に教育活動を進めていますが、「ス」「マ」「イ」「ル」のうちの「マ」では、「まっすぐな心、豊かな心を育む学校」を目指しています。この「まっすぐな心、豊かな心」に関連するのが、表題の「やわらかいころ」でしょうか。

もう一つ。5月19日(木)に開催した今年度第1回の学校運営協議会についてです。本校では、今年度から「コミュニティ・スクール」を実施してまいります。私を含めた14名の委員は、昨年度から本校の子どもたちのことについて熟議をしています。本校の子どもたちに身に付けさせたい力として「チャレンジする心を育むこと」が昨年度の熟議で出されましたので、それを受け、今回は「チャレンジする心を育むためにできること」について熟議をしました。委員の皆様が本校の子どもたちのことを自分事としてとらえ、様々な意見を出してくださることをとても嬉しく思いました。ありがとうございました。また、委員の皆様から本校の「令和4年度学校運営の基本的な方針」についても承認を受けましたので、今後は一層の心強さを感じながら、日々の教育活動に取り組んでまいります。

それでは、保護者の皆様、地域の皆様、今後とも本校の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。